

# 仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



## テイラー文庫 寄贈

—アメリカと日本の懸け橋に—

テイラー・アンダーソン記念基金

3月15日（金）、仙台YMCA国際ホテル専門学校学生支援室にテイラー・アンダーソン記念基金より、テイラー文庫が寄贈されました。寄贈者である「テイラー・アンダーソン記念基金」は、東日本大震災で亡くなったテイラー・アンダーソンさんの遺志をつなげようと、ご両親であるアンダーソンご夫妻の呼びかけにより始められたものです。

### 『アメリカと日本の懸け橋に』

テイラーさんは、震災当時、石巻の小中学校で英語を教えていました。子どもたちに英語を教えることを通して、日本とアメリカの懸け橋になることを小さなころから夢見ていました。夢半ばで終わってしまった娘の遺志を継いで、ご両親はテイラー文庫の寄贈などの活動を始めたのです。

仙台YMCAは、2013年度からテイラー記念奨学金の制度をテイラー・アンダーソン記念基金と共に開始しました。

仙台YMCA国際ホテル専門学校の学生が震災に負けず学習

を続けていけるようにという思いで、奨学金の給付を現在も継続しています。アンダーソンご夫妻も、昨年、奨学生との面会のために仙台YMCAをご訪問いただき、交流の機会を持ちました。

実は、アンダーソンご夫妻、そしてテイラーさん自身もリッチモンドYMCAのメンバーで、ご両親の出会いもYMCAだったそうです。そういったつながりがあって、YMCAにご支援いただくことになったのです。

### 『子どもたちの遺志をつなげるつながり』

今回寄贈されたテイラー文庫は、3つに分かれています。両端の棚は、日本とアメリカを意味し、真ん中の棚はテイラーさんを表しているそうです。子どもが舐めても大丈夫なような加工がされている大変温かみのある木材を利用しています。木材をつなぐビスはアメリカの木を利用しておりテイラーさんの思いがこもっています。

テイラーさん、アンダーソンご夫妻の思いをうけて、この書棚を作ってくださいているのは、テイラー・アンダーソン記念基金のアドバイザーで木工作家の遠藤伸一さんです。遠藤さん自身は、津波で中1、小4、小2の3人のお子様を亡くされました。

### 3人の子を奪った津波

「生きる意味」見失った夫婦に差した一筋の光：朝日新聞デジタル



遠藤伸一さんについて、朝日新聞デジタルにも掲載されています。

テイラーさんの遺志を継ごうと活動するアンダーソンご夫妻の生き方に刺激を受けて子どもたちのために書棚を作り続けている遠藤さんから、「受け取っていただきありがとうございます。」という言葉添えて仙台YMCAに寄贈されました。併せて10万円分の図書カードも頂戴しました。子どもたちも楽しめるような英語の本などを購入していく予定です。（加藤雄一）



## 「卒業・卒園メッセージ」をいただきました！



ボランティアリーダー  
宮城学院女子大学4年  
菅原佳織さん

私は、YMCAで放課後等デイサービスや学童保育、アドベンチャー活動、キャンプなど様々な活動に参加してきました。3年間の活動を振り返ってみると、決して楽しかった日々だけではなく、「辞めてしまいたい」と考えることも少なくなかったように感じます。しかし、こうして3年間YMCAで活動することができたのは、素敵な子どもたちやかけがえのない仲間と出会うことができたからだと思います。いつも明るく迎えてくれる子どもたちの笑顔には何度も元気をもらいました。そして、何かあると真剣に話を聞いてくれる先輩や後輩が近くにいたからこそ、私は悩みを一人で抱え込まずに活動することができたと思います。また、4年生の春には全国リーダー研修にも参加させていただき、全国のYMCAで活動をしているリーダーたちと、同じ時間を共有し自分の想いを語り合った3日間は、私の人生において貴重な経験となりました。人生の選択を迫られる4年間でYMCAと出会えて幸せでした。沢山の感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



西中田こども園  
ひかり組 伊藤彩乃さん保護者  
伊藤尚子さん

2014年に息子が入園してから今年卒園を迎える娘まで、YMCA西中田保育園には10年間お世話になりました。息子は0歳から入園しており不安でいっぱいでしたが、お迎えに行くとき職員の皆様からは子供の一日の様子をしっかりと伝えていただけましたので、安心して預けることができました。昨年保育園からこども園に移行したことから、長年の仕事を退職しそのまま娘を幼児部へと通わせることにしました。仕事を辞めるかどうかで悩んでいた時は、園長さんや職員の皆様には親身になって相談にのっていただけましたので、決心することができました。退職し幼児部へ通わせたことで子供達と向き合う時間が増え、とても良いアドバイスをいただけたと思います。ありがとうございました。息子はYMCAのサッカークラブ、娘はスイミングに通い、リーダーの皆様のご指導のおかげでスポーツの楽しさ、悔しさ等多くの経験をさせてもらっています。これからも続けてまいりますので、引き続きあたたかく見守っていただきますよう宜しくお願いいたします



幼稚園  
ゆり組 小川裕次郎くん保護者  
小川結子さん

我が家の子どもたちがYMCA幼稚園で過ごした年月は8年になります。とても長い期間ですが、振り返ってみるとあっという間でした。

YMCAを選んだ理由は自由に子どもの好きな遊びをたくさんさせてくれるのが長男に合っていると思ったからです。先生方はいつも温かく見守って下さいました。お腹の中にいる時から通った長女、次男もこのびとすごせるYMCA幼稚園が大好きです。私自身もPTA役員や人形劇サークルで活動したりと、子どもたちと同じように濃く楽しい時間を過ごせました。同年代のお子さんを育てる保護者の皆さんとのつながりを持てたのも幼稚園のおかげです。コロナ禍を経験したからこそ、人とのつながりが改めて大切だと実感した園生活でした。間もなく卒園式を迎えます。クラスのお友だちや保護者の皆さん、そして先生方と離れてしまうのは親の私もとても淋しいです。我が子と共に成長させてくださり、ありがとうございました。



ボランティアリーダー  
東北福祉大学4年  
大平智也さん

リーダー生活終了のカウントダウンが近づき、最後を迎えたプログラムもあり子どもたちや保護者の方々との別れがあります。「寂しい」と大粒の涙を流している様子を見て胸がいっぱいになりました。自分を必要としてくれる人がたくさんいるYMCAは私の最高の居場所になりました。大学2年生の時にYMCAと出会い、3年間リーダーとして活動をさせていただきました。初めて参加した冬のキャンプで小学生から高校生が一つになって歌った歌声を聞いて「ここは愛で溢れてみんなを認め合える最高の場所だ」と感動し、改めて大好きになりました。「愛を伝えられる人、愛を伝えられたことに感謝できる人」に私はなりたいと思っています。子どもたちだけでなく、イチゴワークなどを通じて地域の方々や留学生、ワイメンズクラブの方との出会いの中でもたくさんの学びがありました。皆様との出会いに心から感謝いたします。4月から教壇に立ちますが、過信することなく妥協せずに愛を持って子どもたちと向き合っていきます。



長町保育園  
ひかり組 大宮迅くん 保護者  
大宮加奈子さん

2020年12月、息子はぶどう組からお世話になりました。初めての集団生活で心配でしたが、信頼できる仲間がいるYMCAの保育園に入園することができて、本当に嬉しかったことを覚えています。働きながらの子育ては思った以上に大変で、仕事を始めたばかりの頃は息子も体調を崩しがちでした。仕事も子育ても自信をなくしかけていたとき、いつも優しく声をかけてくださり、背中を押して励ましてくれたのは職員のみなさんでした。決して一人で子育てをしているのではないということ、嬉しいときも悲しいときもそばで支えてくださったことに心から感謝しています。私たち親子にとって長町保育園は「みつかる つながる よくなっていく」かけがえのない場所でした。みなさんのたくさんの愛に包まれて、こころもからだもたくましく成長した息子。長町保育園で過ごした思い出や経験を胸に自信を持って小学校に行ってほしいなと思っています。ありがとうございました。



加茂こども園  
ひかり組 高橋鈴さん保護者  
高橋正輝さん

YMCA加茂こども園には次男と長男が0歳児の頃から卒園まで大変お世話になりました。長男は別の保育園へ行き、私にとっては15年間の保育園生活を送りました。正直15年間毎日が必死過ぎてあつという間に駆け抜けてしまったと感じ、寂しいような安心したような複雑な気持ちです。生後間もない長女を抱く傍ら、次男がグズグズしてしまうことも多々ありましたが、私が困っている姿を見て、先生方が手を差し伸べてくれたり、私の代わりに次男を抱っこしてなだめてくれたりしていただきました。その事が気持ちの余裕のなかった私にとって救われた時間でした。そんなグズグズばかりしていた次男も今年で小学3年生、兄たちの姿を見ていたしっかり者の長女は小学1年生、長男は高校生になります。3人共それぞれ個性は強いですが、優しい子どもたちに育ってくれたと思います。一緒に子どもたちの事を考え話を聞いてくださった先生方には感謝しても感謝しきれません。これからも子どもと親が安心して楽しく通えるアットホームで温かい保育施設であって欲しいと思います。園長先生をはじめ先生方、保護者の方々、9年間本当にお世話になりました。



南大野田こども園  
ひかり組 宗像善晴くん保護者  
宗像 香さん

YMCA南大野田こども園には、2人の子あわせて8年間お世話になりました。8年前、初めての子育てと仕事の両立に不安を感じていた中、入園式で園長先生が「一緒に子育てしていきましょう」とお話しされた言葉がとても心強く感じました。コロナ禍での保育は、園児だけではなく先生方の健康にも留意しなければならず、緊張した状況であったかと思います。そんな中でもわいわい遊ぼうデーなど感染対策を取りながら子どもたちが楽しめる行事を工夫して開催していただきました。そんな先生方の姿勢を見て、子どもたちは、できないことを考えるのではなく、今できること楽しめることを考える力が培われました。年長でのクリスマスバザーなどでその力が発揮されたと思います。卒園すると、園児と親ではなくなりますが、自分たちが暮らす地域にある園と今後、違った形で関わっていける機会があればよいと願っています。一緒に子育てしていただきありがとうございました！

## 仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

### 共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

### 喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

### 世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

### 地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

### ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人のかかわりを豊かに育み、隣人に仕えよう喜びの輪を拡げます。

### 子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

## 「目指すこと」 加藤研さん

携帯で一日の歩数を記録することが出来ます。歩くことが仕事量のバロメーターとなるので、数年前から面白半分で始めました。多い日は20,000歩越です。月の合計が500,000歩を超えるときもありますが、平均は450,000歩位でしょう。

「歩幅」の計算をご存じですか？「身長」×「0.45」です。私の身長は165cmですから「 $165 \times 0.45 \div 74\text{cm}$ 」となり、1ヶ月平均「 $0.74\text{m} \times 450,000\text{歩} = 333\text{km}$ 」年間「 $3,996\text{km}$ 」すでに25年過ごしてしますので「 $25\text{年} \times 3,996\text{km} = 99,900\text{km}$ 」約地球2周半したことになります。

その為か娘の小学校卒業の際にあつらえた背広、多少の寸法直しはしましたが今でも現役です。取り立てて痩せようとは思いませんのでそれなりの胴回りと体重ですが、ほぼ当時と同じです。定期的な健康診断では毎回血圧が注意

されますが「要観察」となり投薬は免れています。肝機能の数値も高めなので、酒量を減らさなければと気にかけてはおりますが、なかなか実行は難しいですね。早産で7カ月で誕生し、幼いころは様々な病をもらい親に心配をかけました。当時保育器が使用されるようになった為、命拾いしたのだとよく母親に聞かされました。最近とみにそんな昔の光景や会話を思い出します。3歳と1歳の孫娘たちの姿が幼い頃を思い出させるのかも知れません。

「ボケたくない」「寝たきりにならずに、自力歩行」を目指して日々歩んでいます。



## Information



Follow Us!

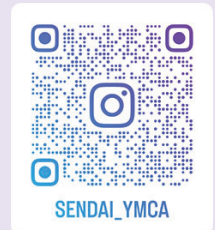
遂に！  
仙台YMCAのインスタグラムアカウントを開設しました！  
本アカウントでも、私たち仙台YMCAの魅力発信していきたいと思っています。フォローや「いいね!」、コメントなどお待ちしております★

Instagramの登録はこちらから↓

【Instagram】

アカウント名：sendai\_ymca

URL：https://www.instagram.com/sendai\_ymca/



## 連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。  
よくなっていく。』

第9回

「YMCAから巣立っていく皆さんへ」



先日、23年前の専門学校の卒業生と食事をしました。彼女はホテル専門学校卒業後、スイスのホテルで働き、現在は山形にあるご実家の会社経営に関わっているとのことでした。卒業生の活躍する姿を見聞きすることは、私たち職員、教員にとっての喜びです。いつまで経ってもYMCAにいたころの様子を思い出することができるのは、YMCAスタッフの特技ではないかと思うほどです。この3月にも、YMCAのこども園、保育園、幼稚園、専門学校で、それぞれ卒園式や卒業式が行われました。多くの子どもたちがYMCAから新しい場へと巣立っていきます。YMCAのロゴマークである赤いYの部分は、鳥が飛び立とうとする瞬間の生き生きとした姿を表しています。卒園児にも、卒業生にも、これから始まる新しいステージで躍動してほしいと願っています。そして、いつでも戻ってきていいのです。いつまでもYMCAは皆さんと共にいます。おめでとうございます！

## 維持会費 (1月24日~3月18日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

維持会員A

布施 直之 伊藤 信弘 木村 俊介 油谷 重雄

太田 嘉嗣 鏡 慶一 坂本 育子 西田 猛和

安田 匡志 深野 稔生

※敬称略



一般会員・サポート会員を  
随時募集中です

ぜひ会員として、  
仙台YMCAの活動をお支えください  
お問い合わせ: 本部事務局

TEL: 022-222-7634

FAX: 022-222-2952